

平成21年度 学校自己評価表

城星学園小学校

| 評価の観点 | 評価項目 | | A | B | C | D |
|----------------------|-----------|---|---|---|---|---|
| ミッション スクールの 使命 | 建学の精神 | 建学の精神が教職員、児童、保護者などによく浸透している。 | | ○ | | |
| | 教育方針（目標） | 目指す児童像である“光の子”という全人教育は教育活動の基盤となり、取り組んでいる。 | | ○ | | |
| | 教育共同体 | サレジオ的アイデンティティと予防教育法の精神と、そのスタイルの環境は維持できている。 | | ○ | | |
| 教育課程 | 教育内容 | カトリック学校として、あらゆる教育活動を通じて、その使命の自覚と共に実践できている。 | | ○ | | |
| | | 教育課程は指導要領を遵守しながらも創意と工夫ある独自の授業が展開されている。 | ○ | | | |
| | | 道徳に代わる宗教科及び宗教科道徳はよく機能している。 | | ○ | | |
| 資質向上 | 校内研修 | 創立者の理念を理解し、実践するための研修は継続的に行われている。 | ○ | | | |
| | | 授業力向上のための授業研究、実践は絶えず行われている。 | ○ | | | |
| | | 教員相互の連携と理解のもとに日常的に実践交流がなされ、研鑽の場がある。 | ○ | | | |
| 環 境 | 宗教的環境 | カトリック精神を伝えるための雰囲気は常に配慮され、環境が保持されている。 | | ○ | | |
| | 安全管理 | 設備も含め、危機管理マニュアルなどの保健、安全対策は充分である。 | | ○ | | |
| | 環境 | 児童が快適に健やかに過ごすための施設、設備は整っている。 | | ○ | | |
| 運 営 | 学園組織 | 学園運営のための組織が機能し、併設校（幼・中・高）との協力体制がとれている。 | | ○ | | |
| | 校務分掌 | それぞれの職務や担当する役割に責任をもって対処している。 | ○ | | | |
| | 保護者、地域の理解 | 保護者に対して本学の方針や活動を理解してもらうための手立てや方策はとれている。 地域や地域住民との交流はできている。 | ○ | | ○ | |
| 学習指導 | 指導評価 | 実力、能力に応じ、児童それぞれの学力の可能性を伸ばしている。 | | ○ | | |
| | | 適切な評価方法をもって、学力評定ができている。 | | ○ | | |
| 生活指導 | 生活指導 | 課題や問題を有している児童に対して共通の理解をもち、解決にあたっている。 | | ○ | | |
| | | 本学の児童の規範意識、行動は社会一般実態と比較して概ね良好である。 | | ○ | | |

A: 充分達成できている
 B: 概ね達成している
 C: あまり達成していない
 D: ほとんど達成できていない